

◆ 上島 補助金についてお伺いいたします。

アクション・プランを始めまして行財政改革を今後も進行させていく中で、一体、補助金というのはどういうふうになっていくのかなというふうにとちょっと考えております。

実際のところ、その補助金については、一つ一つの個々の調査で精査していくことになろうと思うんですが、全体としてどういう方向に行くのか、新しい公共という考え方の中でふえていくのかどうか、今後の補助金の見直しの方向性をどのように考えているのか、お教えいただきたいと思っております。

あわせて、ことしから施策評価がちょうど始まりますけれども、この中に補助金というものが対象として含まれるのかどうか、その辺も教えていただきたいと思っております。

◎ 政策経営室 参事 補助金の見直しにつきましては、以前から行財政改善の大きな課題だというふうに認識しておりますし、そういう方向でお示ししてきてございます。

補助金については、いわゆる今までの補助金という問題と、これからは、例えばNPO等の新しい支援という問題とが現在ありまして、その辺の整合、あるいは古いものと新しいものとの対応、今後、この辺がちょっとありまして、今、対応策については、具体的にどういうふうにするのか検討中でございますので、まだ具体的な方向性は出てきておりません。ただ、当然、大きな課題だというふうには認識しております。

それから、施策評価支援システムの中で補助金そのものをどういうふうに取り扱うのかというお話でございますが、今の段階では、個々の補助金を評価システムで一個一個点検していくということではないんですが、恐らく補助金という大きなグループをつくって補助金のあり方を見ていくということは、今は二千百ないし二千二百の事業点検をやっていますので、今はその範疇はありませんけれども、その次のステップとして、そういうグループ化をした補助金の見直しということは、今後検討していかなきゃいけないだろうと考えております。

◆ 上島 やはり既得権益的なもので効果が薄れてしまっているものをどう処理していくのか、また、きっぱり削減できるのか、もしくはその団体としっかり協議をして方向性を変えて、実のある補助金にできるかどうか、これからのそういった取り組みというのが大変重要だと思っておりますので、その辺のところにも力を入れていただきたいというふうにお願い申し上げます。

それで、個別といいますか、補助金の具体的例として、たまたま予算書の歳出の一番初めに出てくる補助金というのが、区議会議員の待遇者会の補助金なんでございます。これについてちょっと質問させてもらいたいんですが、今、百万円の支出ということになっております。これを過去から見っていきますと、二百九十万円から、去年が二百万円、ことしは百万円というふうに、待遇者会の方々と、また区の方で大変減らしてきているという、そういった努力が見られるんですが、私はこういった削減をしていく中でこれから、お金があるのが一番いいんですけれども、お金がなくても何かできることはないかという視点で、一度協議をしていただきたいと思っております。

私がアットランダムに近隣の四十の市を調べてみましたら、実際に支出しているところは三つほどでございました。それで、一番多いのが五十万円の三鷹市、これが一番でございまして、次に、川崎市が五万円です。これは飲食費というかお茶代ということで五万円が出ている。あともう一つが二万六千円という、これは市の職員が視察の随行に行ったときのお金が二万六千円ということで、これは全国的に調べるとどうなるか、私もちょっとよくわからないんですが、最近二、三年の間に、待遇者会の補助というものが随分すばっと削られているような状況にあるわけでありまして。

私はすばつと削ればいいというふうには思いませんが、削ればいいというのではなくて、今、待遇者会と区がどのような関係であるのか、しっかりと一回考えていただきたいなと思います。また、待遇者会の方々とそういう協議をこれから進めることがまず必要かな。その中で、やっぱり二百万円に戻した方がいいのか、そういった議論も出てくると思います。それでも私は、しっかりとした理由があれば、それはそれでいいと思いますし、全国的な流れはわかりませんが、近隣を見てみますと、もうなくしているという方向でございますので、できればその辺のところを私はもう一回考えていただきたいと思います。

◎ 総務部参事　お話のように、議員待遇者会については、平成五年に二百九十万円の補助金、それを二百万円、百万円というふうに削ってまいりました。区政のこのような厳しい財政状況ということをお話ししまして、気持ちよく了解いただいて、十二年度からは百万円ということになっております。

議員待遇者会は、区政の振興と円満なる発達に協力するということで、これまでもいろんな施設を見学したり予算の勉強会をして、絶えず新しい情報を得ておりますので、いろんな形でご協力をいただけていると思っていますので、これからも会と相談しながら協力関係を築いていきたいと思っています。